

第31期第4回小田原市図書館協議会会議録

1 日 時 平成27年10月8日(木) 午後1時55分～午後3時55分

2 場 所 小田原市川東タウンセンターマロニエ 集会室203

3 出席者 宮崎委員長、野口副委員長、宮内委員、大塚委員、益田委員、
松本委員、田先委員、村上委員
諸星文化部長、杉崎文化部副部長、古矢図書館長、三樹副館長、
北村副館長、穂谷野管理係長、星崎主査

4 傍聴者 1人

5 内 容

(1) あいさつ

諸星部長からあいさつ

(2) 報告事項

(委員長) 議事を進める前に事務局に尋ねるが、本日の議題の中で、非公開にする案件はあるか。

(館長) 次第の「3 協議事項の 駅前図書施設について」は、市議会をはじめ、教育委員会定例会等に提出していない、「図書施設機能等検討支援業務委託」の中間報告書などを取り扱うので、この部分のみ非公開にしたい。

(委員長) ただいま、事務局から、本日の会議においては、「3 協議事項の 駅前図書施設について」を除いては、非公開案件はない旨発言があったが、各委員、何か御意見などあるか。

(各委員から、意見は無く全員賛成)

(委員長) 全員賛成により、「3 協議事項の 駅前図書施設について」は、後ほど非公開での審議とさせていただく。本日、傍聴希望者はいるか。

(星崎主査) ただいま1人いられる。

(委員長) 了解した。それでは、議事を進める。

「2 報告事項の (1) 平成27年度図書館関連議会報告について」から「(3) 図書館行事の予定について」までを議題とする。

(星崎主査)「2 報告事項の (1)平成27年度図書館関連議会報告について」から「(3)図書館行事の予定について」までは、事務局から資料発送時に、協議事項により多くの時間を割り当てるために、今回の協議会では説明を割愛する旨連絡させていただいた。資料については、各委員、すでにお目とおしと思うが、質問などあったら、ご発言をお願いしたい。

(館長)該当する資料は、資料1から資料3である。何かご質問はあるか。

(各委員から、質問なし)

4) 子ども読書活動推進計画について

「資料4、資料4-1、資料4-2、資料4-3、資料4-4、資料4-5」にもとづき、北村副館長から説明を行った。

(委員長)ただいまの説明に対し、各委員、質問などあるか。

幼稚園・保育園長、小学生、中学生、幼稚園・保育園児保護者に対してアンケートを実施するようだが、学校長に対しては実施するのか。

(北村副館長)学校図書館担当者に対して実施する。

(委員長)小学生、中学生に関しては、ルビの有無程度の違いで内容的には変わっていないようである。回収は今月末までか。

(北村副館長)10月16日までである。

(委員長)郵送で提出するのか。

(北村副館長)庁内を巡回する逡送便で提出していただく。

(委員長)私学は含まれるのか。

(北村副館長)市立のみである。

(委員長)11月から12月にかけて集計、その後、本協議会で報告と予定されている。

読書活動推進法が平成13年に制定され、国、県、市と取り組みが進んだ。神奈川県では、平成26年に第三次計画が制定され、本市では、平成22年に読書活動推進計画が制定されている。当時の本協議会で、内容について検討していた。

(館長) 前期の本協議会の主要なテーマが、学校図書館との連携についてであった。学校図書館も近年変わってきており、学校の実態を踏まえていくことが重要である。アンケートの結果を参考にし、今後、重点的に力を入れるところを検討していきたい。

(大塚委員) この推進計画は、学校主導で推進されるのか。

(館長) 前期の本協議会の報告書において、学校現場に対して、図書館が出向き、アプローチをすべきであるのご意見をいただいた。学校図書館ボランティアヘアドバイスする機会などは徐々に増えており、学校に対しては、図書館としてお願いするだけでなく、アクションを起こしていきたい。

(委員長) 前期の報告書について、各委員に配付されているか。

(星崎主査) 昨年11月の第1回協議会にて、配付させていただいている。

(委員長) 子どもの読書活動推進については、今後、積極的に展開されると考えてよいのか。

(館長) 例えば、駅前図書施設についても、基本方針上、子どものためというところもあり、推進していきたいと考えている。

(益田委員) この件に関して、アンケートを実施するのは初めてか。

(館長) 子ども読書活動推進計画を策定するときに、実施している。今回のアンケートは、その時よりも母数を多くしている。

(益田委員) 成果がどのくらい上がっているのか、アンケートからは分からない。

(館長) 読書に対する考え方などを把握するため、今後、どこに力を入れるかについても検討していきたい。

(益田委員) 今までの実施内容が効果的であったか、比較検証できると良いと考える。

(委員長) 比較検証については、興味がある。また、この場での報告をお願いしたい。副委員長から、何かご意見はあるか。

(副委員長) アンケートの対象が、幼稚園児保護者、幼稚園長、小中学校児童生徒とのことだが、全員なのか。

(館長) 各学校各学年一クラスを対象とさせていただいた。例えば、一学年一クラスの場合は全員、一学年三クラスという場合は、そのうちの一クラスが対象となる。

(野口委員) 少し気になったところがある。高校生が含まれていない点である。そもそも読書活動推進は、高校生までが対象であるので、高校生のニーズがつかめると良いと思う。高校となると県立になるので、アンケートの実施は難しくなると思うが。

(館長) 駅前図書施設に関して、直接、高校生に意見を聞くこともあった。協力的な学校図書館司書が高校に在籍していることも分かったので、高校生については、次回の参考とさせていただきたい。

(委員長) かつては、県立高校の先生が本協議会のメンバーに含まれていた。ヤングアダルトという分類も現在は、一般化してきたように感じる。

(宮内委員) 学校としては、今回のアンケートは大規模なものであると感じている。特に一年生、二年生への説明には労力がかかるが、現場には、今回のアンケートの必要性を説明している。このアンケートの結果を良い読書環境のために、生かしていただきたい。

(3) 協議事項

駅前図書施設について (非公開)

(4) その他

(委員長) その他について、事務局何かあるか。

(星崎主査) 次回の開催については、改めて日程調整させていただきたい。また、図書館関連の各種行事のチラシなどを配付させていただいたので、ぜひご覧いただきたい。

(委員長) 次回は、いつ頃の開催を検討しているのか。

(星崎主査) 来年の1月ごろを想定している。

(委員長) 了解した。それでは、本日は、ここまでとする。

(この後、マロニエ図書室の見学を実施した。)

終了